

会 議 録

会議の名称	令和3年度第1回和泉市こども・子育て会議
開催日時	令和3年6月29日（火）午後3時から
開催場所	和泉市コミュニティセンター1階中集会室
出席者 (敬称略)	<p>&lt;こども・子育て会議委員&gt;  石田会長、安原副会長、浅井委員、北守委員、田中委員、橋本委員、内藤委員、弓削委員、木口委員、山口委員、佐々木委員、佐藤委員、藤原委員、大場委員、松田委員、中塚委員</p> <p>&lt;事務局&gt;  飯阪子育て健康部理事兼教育・こども部理事、森こども未来室長、田中幼保運営担当課長、樋上幼保育成担当課長、北野幼保運営担当総括主幹  西川子育て支援室長、濱田こども支援担当課長、瀧こども支援担当総括主幹、藤原こども政策担当総括主幹、伊勢こども政策担当主査</p>
会議の議題	<p>案 件</p> <p>① 令和2年度第2期和泉市こども・子育て応援プランの進捗状況について</p> <p>② 第2期和泉市こども・子育て応援プランにおける地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策の変更について（地域子育て支援拠点事業）</p> <p>報告事項</p> <p>① 公立認定こども園（和泉保育園及び国府幼稚園の移転統合）の整備について</p>
会議の要旨	<p>(1) 令和2年度第2期和泉市こども・子育て応援プランの進捗状況調査結果報告に対する意見聴取</p> <p>(2) 第2期和泉市こども・子育て応援プランにおける地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策の変更について（地域子育て支援拠点事業）の審議</p>
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
記録内容の確認方法	<input type="checkbox"/> 会議の議長の確認を得ている <input checked="" type="checkbox"/> 出席した構成員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他（ ）
その他の必要事項	会議公開（傍聴者2名）

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

1. 開会

(事務局)

本会議は「和泉市審議会等の設置及び運営に関する規則」に基づき、会議の透明性を確保するため原則公開で開催する。

また、本会議は会議録作成のため録音し、会議録は公開する。

なお、本会議は定数16名、出席者数は16名で、和泉市こども・子育て会議条例第8条第2項の規定により成立していることを報告する。

【資料の確認】

2. 委嘱状の交付

3. 理事挨拶

4. 委員、職員の紹介

(会長)

昨年度に引き続き、今年度も会長を務める旨、挨拶。本会議は一時間程度で審議を行う予定である。

(会長)

本日の会議の資料や会議録の公表について、委員名簿は氏名を公表し、会議録作成にあたり、本会議の個々の発言の要旨については単に委員と表記し要点をまとめ、各委員に事務局より確認後、私に一任いただいてもよいか。

(委員)

【異議なし】

(会長)

それでは、案件①「令和2年度第2期和泉市こども・子育て応援プランの進捗状況について」事務局から説明をお願いします。

(事務局)

【資料2】に基づき、事務局から説明。

(会長)

委員それぞれの立場からの意見を求める。

(委員)

9ページ、事業No. 19「教職員研修の充実」について、小学校の授業参観で生徒が一人一台タブレットを使って、生徒どうしが互いに教えあって取り組んでいる姿に感心した。一方で、先生の技量も必要であると感じた。得意な先生も不慣れな先生もおられると思うのもっと資質向上できるよう研修を充実してもらいたい。

(会長)

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

このことについて、学校、事務局としてはどのように考えているのか意見を求める。

（委員）

実際に専門知識がない教職員もいて、今後も充実した研修が必要。活用については、家庭での接続テストを行い、夏休みにタブレットを家庭に持ち帰り課題をする予定である。

（事務局）

教育委員会に、教職員の研修を充実してもらいたいと伝えさせていただく。

（委員）

4ページ⑥病児・病後児保育事業について、令和2年度の実際の利用量が162人であるが、これは新型コロナウイルス感染症の影響もあり減少しているのか。実際の確保量は1,440人と開きがあるがそのあたりの考え方は。

（事務局）

病児保育は、平成30年度が延516日、令和元年度が延554日となっており、昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響があったと考えられる。

また、家族内で対応できたり、職場での子育て支援が進みつつあることなども影響していると考えられる。

しかし、病児保育事業が必要な方もおられ、必要な方が利用できるよう実施していきたいと考えている。

（委員）

9ページ、事業No. 19 「教職員研修の充実」について、不登校の生徒の学習や居場所に関し、G I G Aスクール構想を通じた教育が実現できる場となればよいと思うが、市はどのように考えているか。

（事務局）

G I G Aスクール構想上での不登校の子どもの居場所づくりではないが、子どもの居場所として、中学校区に一つ、こども食堂を設置できればと考えている。

（会長）

他に意見がないようであれば、次の案件に移る。

案件②について事務局から説明をお願いします。

（事務局）

【資料3】に基づき、事務局から説明。

（会長）

委員に意見を求める。

（委員）

北松尾エンゼルハウスが物理的な理由で閉所となったときいた。就学前児童数や在宅児童数が減少傾向にあり、数字上の説明は理解できるが、北松尾を利用していた親子のことを考えると、近くて便利に利用できたものがなくなってしまう。新たに開設できるよう市の支援をお願いできないものか。今後、子どもが減っていくと、エンゼルハウスも減らしていくのか。

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

（事務局）

北松尾を利用していた方については、ご不便をかけ申し訳ない。

利用者へのアンケートでは中部の他のエンゼルハウス等の利用意向もあったところ。市域全体でみると設置位置的にも確保できていると考えておりご理解いただきたい。今後についても、子どもの減少にあわせて必ずしもエンゼルハウスを減らしていくというものでなく、地域で担っていただく子育て支援の役割が変化していくと想定される中、子育て世代包括支援センター機能の充実に向けて、子育て支援センターともに連携協力していただくようお願いしたい。

（会長）

事務局から説明があったように変更することを承認される。

意見がないので、次の報告事項へ移る。

公立認定こども園（和泉保育園及び国府幼稚園の移転統合）の整備について、事務局に報告を求める。

（事務局）

【参考資料4】に基づき、事務局から説明。

（会長）

委員に意見、質問を求める。

（委員）

令和8年度芦部保育園の民営化に伴い、医療的ケアの必要な児童の対応を検討されているかと思うが、公立認定こども園においてもその医療的ケア児の対応を考えているのか。

（事務局）

消防本部跡地の民間園誘致について、医療的ケア機能を備えた保育施設を誘致するかについては予定地の一つであるが、現時点では未確定である。また、公立認定こども園の整備については他の公立園と同様、医療的ケア児の対応について検討していく必要があると考えている。

（会長）

他にないようであれば、以上で本日の案件は全て終了した。これをもって令和3年度第1回和泉市こども・子育て会議を閉会する。